



早くスキーを着きたいけれど、まずは先生からの事前指導



“階段登行”(かに歩き)「足が思うように進まないヨ」

広報 ひがし しらかわ

1993
平成5年

3

No. 382

- 発行/東白川村
- 編集/企画財政課
岐阜県加茂郡東白川村神土
〒509-13 ☎05747(8)3111
- 印刷/下呂印刷株式会社

人口の動き

—2月末住民登録人口から—

世帯数	910世帯
人口	3,445人
転入	5人
転出	6人
出生	7人
死亡	5人

先月と比較して1人増
 昨年同月と比較して
 29人減

中学生の白銀体験!!

一面銀世界!生徒たちは、“水を得た魚”ならぬ
 “雪を得たトナカイ”のように飛びはねました。

2月24日から3日間、東白川中学校1年生41名が
 御嶽少年自然の家へ宿泊スキー研修に出かけました。

この研修は今年で6回目。毎年1年生が楽しみに
 している行事です。今年は前日からの大雪でコンデ
 ションは最高。初日午後からさっそくゲレンデに
 飛び出して研修を開始。初心者は約半数の24名でし
 たが、その上達ぶりもさることながら、2泊3日の研
 修は、生徒たちの連帯感をさらに強くしたようです。



猛吹雪の中、少し離れると視界はこのとおり

総予算の伸び率

三十一・六

パーセント



ここからふれあいと活力が生まれそう(こもれびの館)

全開でむらづくり

総額 = 47億4,700万円 (31.6%増)

一般会計 = 31億6,000万円 (27.5%増)

国民健康保険特別会計 = 1億8,700万円 (11.0%減)

老人保健特別会計 = 2億7,400万円 (7.5%増)

有線放送電話特別会計 = 1億700万円 (357.3%増)

簡易水道事業特別会計 = 6億4,400万円 (137.8%増)

分収造林費特別会計 = 200万円 (0)

病院事業会計 = 4億円 (3.2%増)

私たちの村の平成五年度の予算が三月八日から始まった村議会定例会で承認されました。景気の低迷が続く国の新年度予算が前年度に比べ、〇・二割増という低い伸びとなる超緊縮型予算となり、地方交付税交付金が、減額するとい

た。各種事業の着実な推進に加え、百年に一度ともいふべき大事業であるハノキ会館(文化施設)と役場庁舎の建設を同時に実施する巡回合わせとなったほか、有線放送電話施設の更新、簡易水道事業の本格的推進など大事業に取り組んでいくために、総額で前年度よりも十一億円以上も多い三十一・六割増の四十七億四千七百万円という超大型の「パワー全開予算」となりました。

う状況下において一方においては、景気回復の手段として地方単独事業を伸ばすための財源を確保するという相反した課題を同時に克服するという国の方針の下、私たちの村の平成五年度予算は、来たるべき、二十一世紀に向けての村づくり総

合計画三年目

楽しみな新事業

大幅な伸びとなったパワー全開の新年度予算。ここでは、平成五年度からスタートする新しい事業についていくつか紹介したいと思います。

○ ○ ○ ○ ○

まだちょっと早いには

老け込んでもらうには
これまで社会の第一線で活躍されたお年寄りのみなさんに、生きがいを持って、「生涯現役」を目指してもらいたい。そんな願いから登場するのが「健康と生きがいづくり事業」。

高齢者の皆さんが、例えば老人クラブ単位であるいは趣味の会の仲間どうして計画をして、スポーツを楽しんでもらったり



こんな姿が、こもれびの館で...

竹、わら細工といった活動や花を作るのもいいでしょう。何か目的を持って自主的に活動してもらうことがこの事業のねらいです。ふれあいを大切にしたこの事

予 算

全体像

新年度予算のあらまし

村の新年度予算の使い道を見る前に一般会計の歳入(村に入ってくるお金)と歳出(むらづくりに使うお金)について簡単に紹介します。

内訳は、下のグラフに示した内容となっておりますが、歳出面ではその特徴として役場庁舎、ハナノキ会館という二大施設の建設が計画されているため、総務費が前年度に比べ一〇七・一割増となる十四億六千七百万円余という大幅な伸びとなりました。

一般会計予算総額で三十一億円余りという台所を支える歳入は、国から交付される地方交付税や国・県からの支出金など依存財源が大きなウェートを占めており、村税収入は、全体の六・三割の一億九千九百万円余となっております。

そのほか前年度に比べ大幅に増えているものに財産収入

と繰入金があります。これは例えば一般家庭で家を新築するような時、資金調達のため財産を売却したり、貯金を下ろしたりすることと同様で村の財産である村有林生産材の売却収入などや財政調整基金、庁舎建設基金といった「村の貯金」をあてた収入です。

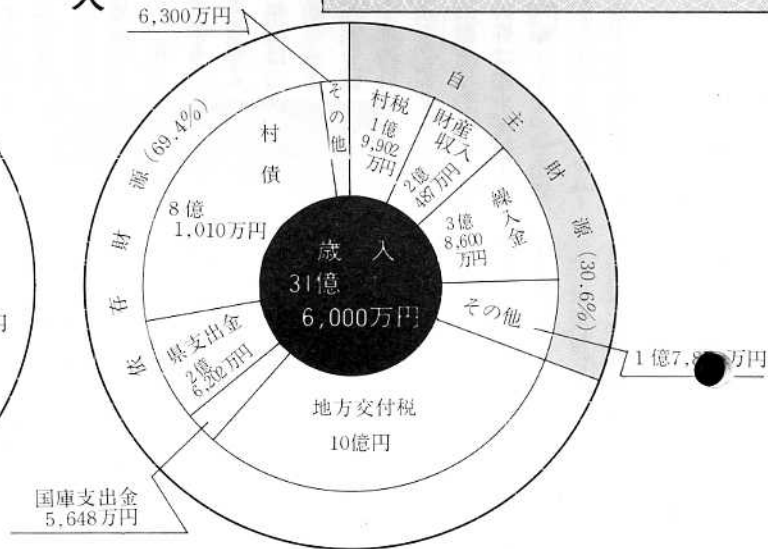
村の借入金も、八億一千万円余と前年度より三十七割余り多くなりました。

村が国から借り入れる資金のことを村債といいます。これは借入金である以上、利息をつけて返済しなければなりません。村では、返済元金と利息の五十五割が国から助成される「地域づくり事業債」や同様に七十割が国から助成される「過疎債」といった有利な村債を利用しています。

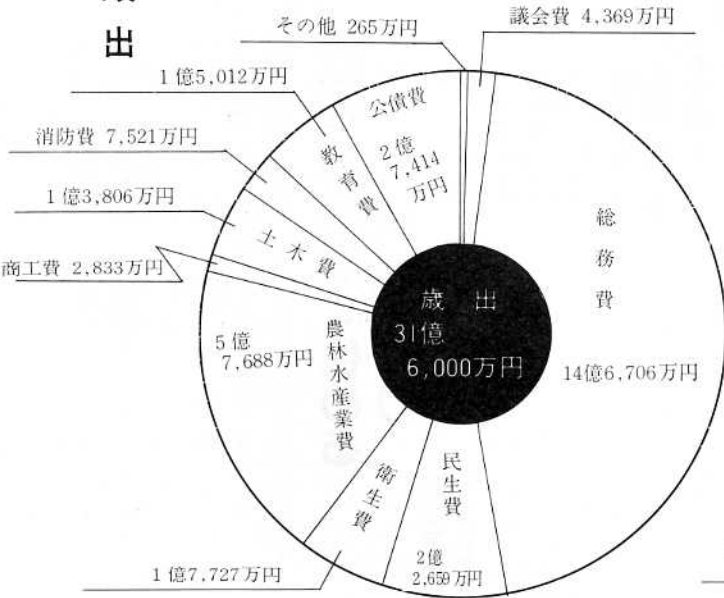
地場産業を振興して、税収がもっと多くなるような力をつけることは理想ですが、住民のみなさんの負担になるようなしわ寄せのないよう配慮したやりくりといえるでしょう。

パー

歳入



歳出



親離れより子離れ

の方が大変そう

子どもたちに年齢を超えた交流を。「ふれあい体験合宿」と銘打ったこの事業もこまればの館を利用します。小中学生を対象に、集落を単位とし一グループ三十人程度に分け、六月から十一月までの間に、一週間ずつ合宿を行うものです。

合宿期間は、こまればの館から通学し、食事はPTAの皆さんに協力を願いますが、一、二回は、子どもたちも挑戦、掃除洗濯などは自分たちで分担して行います。

また、この合宿期間に訪れたお年寄りたちとの交流も楽しみ内容の一つとなるでしょう

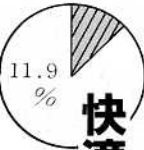
この体験は、子どもたちが思いやりの心や生き方を見つけてくれる機会にしたいと思います。

(次ページに続く)

こんなことに使います

円グラフの数字
は一般会計
予算に占める比率

快適で便利な生活環境づくり



三億七、六三〇万円

私たちの住んでいる身の回りの環境を少しでも良くしていきたい。快適で便利な生活環境づくりは、第一に考えねばならないものの一つです。

内では、ヤマカ酒店付近から病院付近までの拡張工事と中学校から病院に向かって歩道の整備を行います。

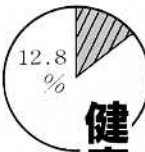
気になる主要地方道白川加子母線の新年度の進み具合は、五加バイパス柏本橋と周辺整備の工事がほぼ完了し、平成六年夏には、通行が可能となる予定です。また、越原工区では、越原橋から岩屋までの区間の用地取得と工事の促進に加え、岩屋から加子母境までの残りの区間の路線が決定します。また、平地

現在工事を進めている沢尻橋も来年春には完成し、通行が可能になります。この沢尻橋を含め、中学校前の対岸周辺は、小公園として整備を行っています。が、五年度は、橋の欄干の整備や、白川を臨む高台に展望台も設置する予定です。

そのほか今年度整備を予定している道路については、次ページの表にまとめたとおりですが、快適さ、便利さを追求すること

はもちろんのこと、景観などに充分配慮しながら村づくりを進めていきたいと思っております。

健康で安心して住める



地域づくり

三億六、七〇三万円

「お年寄りが元気なら村中が元気」。高齢者比率（人口の中で六十五歳以上の人が占める割合）が二四・三割（十二月末現在）を占め、高齢化社会を迎えている私たちの村では、高齢者福祉は、これから将来にかけ最大の課題となります。

また、毎年一か所づつ老人クラブ単位で建設している「いの家」ですが、五年度は高砂会の皆さんに使っていただけるよう大明神農村広場付近に建設を予定しています。



お年寄り子どもたちのふれあいを重視

とが事実なら、寝たきりなど家庭介護を必要とする人や一人暮らしのお年寄りが、増えていることもまた事実です。こうした皆さんのお手伝いをするホームヘルパー派遣を充実して

ていくため、新年度は、パートヘルパーを募集し、ヘルパーの人数も増やしていきたいと思っております。

「長寿村」としての土台を築いて来た成人病検診をはじめと

山村生活の魅力を

知ってもらいたい

「都会から来る人たちに自然に触れてもらうだけでなく、昔ながらの山村生活を体験し、理解してもらいたい」。

新山村振興事業の一環として、新年度こもれびの里の中に予定しているユニークな施設、それが農林業体験施設（山里の暮らし体験場）です。

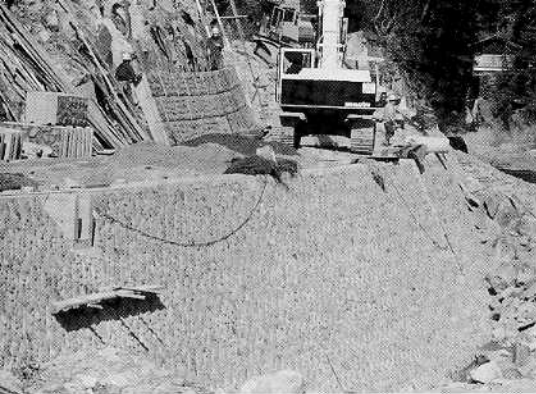


子どもたちも大人も挑戦

その名前のとおりこの施設の中には、炭焼き体験ができる「炭焼き小屋」、山仕事の道具を展示し、実際に板を挽いたり、囲炉裏もあって食事もできる「木挽小屋」、城内を散策できる二百坪の「遊歩道」。どれを取っても最近お目にかかることが少なくなつたものばかり。都会の人だけでなく、村の若者や子どもたちも大いに利用できそうです。

農家に吉報！

三つの新しいとりくみ
新年度、農業面を推進してい



景観を損なわぬよう配慮した誘遊街道工事

予 算

一般会計

する各種検診や相談事業など健康面での取り組みについては、今年度も継続実施をしていきますが、健康面を考えるうえで欠くことのできない環境衛生の面でも一歩踏み込んでみたいと思います。環境を守っていくためのリサイクル運動は、世界的な広がりを見せていますが、この運動を村でも推進するとともに、現在、小中学校のPTAが年四回実施している廃品回収などの活動について補助などの支援をしていきます。

昨年度から本格的に始まった簡易水道事業は、安心して住める地域づくりを語るうえで欠くことはできません。今年度はこの簡易水道特別会計に六億四千四百万円を計上し、工事のほうも急ピッチで進められます。

平成五年度は、水源地(取水場)から取った水をきれいにする浄水場工事に加え、三か所で配水池工事を行い、さらに大明神方面から配水管工事給水管工事も行います。

今年度の道路整備予定37路線

- ☆農村総合整備モデル事業 (3路線)
 - ▶日向本線改良工事(100m) ▶沢尻東線橋梁架設工事(舗装149m・橋梁52.4m)
 - ▶沢尻線改良舗装工事(改良40m・舗装235m)
- ☆村単農道整備舗装 (6路線)
 - ▶下野本線(194m) ▶下野西線(94m)
 - ▶美峰園線(神付・332m) ▶下野東線(55m)
 - ▶鋼山洞線(下野・73m) ▶中道2号線(黒淵132m)
- ☆生活道整備 (16路線▶大口4路線(94.4m) ▶平7路線(293.9m) 下野5路線) 156.1m)
- ☆県営畑総事業 (4路線) ▶基幹農道後山線舗装(百年道路・1,300m) ▶支線道路柏本・宮代線(700m) ▶支線農道整備一柄溪線(下親田・512m)・中峠線(大明神・640m)
- ☆中山間地域活性化事業 (3路線) ▶小峠線(中谷・407m) ▶大口南線(433m) ▶外山下線(神付・365m)
- ☆誘遊街道整備事業 (平向線) …せせらぎ荘対岸から平頭首工付近まで117m開設
- ☆林道の開設改良事業 (4路線) ▶中根林道(開設・栃山・500m) ▶穴沢林道(改良・黒淵215m) ▶久須見大野林道(改良・40m) ▶大シデ林道(舗装・下親田1,111m)



地域の特色を生かした産業づくり

住まいを考え、健康面を考え、次に考えなければならぬ大切なことといえは、**「生業」**です。

国の内外で農林業を取り巻く状況が深刻化の一途をたどっている今だからこそ個性を主張すべき時代ではないでしょうか。

今年度は、ナス生産農家待望の選果場建設が行われます。夏秋ナスの農家では、今まで収穫したものを全て手選果によって市場へ出していたため、商品の均一化が不十分であったり、手選果に時間を取られほかの作業がおろそかになることもありま

成を祝った産直住宅東白川の家

この二月に二百五十棟めの完成を祝った産直住宅東白川の家

枝打ちにも力を入れていきます。

品の生産拡大や新しい特産品開発に力を注ぎ、産業の新分野も開拓していきたいと思えます。



味の館で漬物づくり

の振興は、村の産業分野でも大きな比重を占めるに至っています。今年度も村外で新築される住宅の受注を三十棟見込み、助成を行っています。

平成四年度を産業面から振り返って見た時、農産加工施設、味の館の果たした役割は大きなものがありました。しゃっきり漬、とまとのまんまなどヒット商品を続々に作り出し大きな成果を上げました。今年度もこうした商品の生産拡大や新しい特産品開発に力を注ぎ、産業の新分野も開拓していきたいと思えます。

くため次のような新しい取り組みを行います。

その一つは、環境保全型農業推進事業です。この事業は、これまで、自然に優しい農法である健康農作物として推進してきた千宝菜、小松菜、赤ひげネギ、モロヘイヤなどをはじめとする有機、低農薬による農業を行っている生産者の皆さんとともに、環境保全型農業実践委員会を設け、栽培技術の確立、マニュアルの作成、配布などの普及や促進を行っています。

水稲の面で、これまで転作枠の中にあった他用途利用米が別枠となったため、価格の面で政府売渡米の二分の一程度になる加工用米である他用途利用米の推進を図るために助成を行います。

畜産関係では、仔牛の値が高いことを考え、畜産農家の皆さんの負担を少しでも軽くするために、新たに繁殖用(種つけ用)の牛舎を設置する人への補助も行うことにしました。



健康野菜 千宝菜

(次ページに続く)



ふれあいと活気のすゝみ はなノキ

八億二、三三二一万元

立村百年を機に実施したアンケートの結果、村民の皆さんから要望の多かった意見を具体化したスポーツと文化の交流ゾーン「こもれびの里」。平成三年度から工事が進められてきた整備事業もいよいよ最終年度を迎えます。

今年度建設を行うハナノキ会館は、今までの村民センターでの集会機能に加え、郷土歌舞伎や音楽会など五百人程度が収容できる多目的文化施設。さらに昨年完成した総合運動場、今年春完成のこもれびの館、また五年度内完成を目指すハナノキロ



神田座をモデルにしたハナノキ会館

ードを加え、私たちの夢を乗せたこもれびの里の姿は整います。「こもれびの里」を「こもれびの里」。

「村おこし」、「活性化」は人の力なくしては育ちません。平成二年度から実施をしている「新規就業者研修「フレッシュバック」をはじめ、「若社長研修」など人材育成事業には今年も力を入れていきたいと思えます。

人材育成のためには、教育面での強化も必要です。小中学校の教育費、施設整備には合わせて三千三百万円余を投じました。また、新たに「こもれびの館」を利用し、小中学生を対象にしたふれあい体験合宿も計画しています。詳しくは、新規事業の覧で説明してありますが、この事業と高齢者のこもれびの館へのデイサービスとをジョイントさせて世代間での交流が実現すれば、生涯学習の場ともなることとでしょう。

社会体育の面では、昨年力を入れて取り組んだグラウンドゴルフを家族ぐるみで楽しんでいただけに、ファミリー大会

を計画しています。さらに活性化のための活動支援として旗上げとなった観光協会の支援とともに、夏まつりや



21世紀への行政推進体制と 安全な地域づくり

一億八、九五〇万円

建築されてから百年。いよいよ役場庁舎が今年度改築となります。二十一世紀の村の中枢機関にふさわしく、コンピュータ

ー化や高度な通信情報処理にも対応ができる機能を備えたいと思えます。村民の皆さんに親しまれるような庁舎を目指したいと思えます。この庁舎建設には本

体工事、裏山保全工事をはじめ関連する工事などを合わせ、四億八千万円を計上しました。

「この村に住んでいて良かった。これからもずっと住みたい。」誰もがこう実感できる村をつくりたいものです。住みよい村を目指してむらづくりを進めるのは、住民のみなさんと行政です。お互いが心を通わせ、力を合わ



窓口は役場の顔です。

産業祭などのイベント実施を見込み、花の都きふづくりに呼応して、花の道づくりや白川ぞいの景観整備を手がける予定です。

せながら村をつくるのが大切です。むらづくりを進めるうえで、行政が住民の声を聴くことを「広聴」といいます。その声に基づいて行政が考え方や施策を示すことを「広報」といいます。

この広報広聴活動の充実を図るため村では新たに年二十回程度の予定で希望者を募り、「村内巡りバス」を始めることになりました。今、村のどこでどんな事業が行われているかを実際にその場所へ行って、ご自分の目で確かめて下さい。それがむらづくりの第一歩になるのですから

好評のふるさとシリーズ
6巻目を刊行

新しい事業というわけではありませんが、教育委員会がふるさとシリーズの第六巻として「東白川のことば」を発行します。これまで、ふるさとシリーズは、「石造物一集」「文化財」「石造物二集」「廃仏毀釈」「年中行事」の五巻を発行してきましたが、新たに作る「東白川のことば」は、村の古くからの方言などを含め約七千語を収録し、サイズは従来の大きさと変わりませんが、辞書スタイルで約三百ページという分厚いもの。内容も単にことばの意味だけでなく、イラストなどを交え、ことばに関連のある習慣や建物、行事といった内容にも触れています。貴重な資料として一家に一冊は置いておきたい本となりそうです。

五月ごろをメドに五百部の発行を予定しており、定価は一冊二千円です。



好評のふるさとシリーズ

子算

特別会計

国保会計

村には、一般会計とは別にそれぞれの目的によって設置した六つの特別会計があります。

新年度はこの特別会計に十六億一千四百万円を計上しました。ここでは、国民健康保険、老人保健、有線放送、病院会計、簡易水道事業の新年度予算とおもな事業を紹介します。

国民健康保険特別会計は、総額一億八千七百万円で、皆さんから納めていただく保険料と国庫支出金をおもな財源として、村の人口の約四六・六割にあたる千六百八人の医療費に対し、七割の支給を行うほか、高額療養費や助産費、葬祭費などの給付（支給）を行っています。



入者が減少傾向にあるなど決して安易ではありませんが、住民のみなさんの健康に対する意識の高い私たちの村では、医療費の伸びも少なく保険料率据置きの中で黒字経営を続け、四年度は、この料率を一人平均十割下げて運営を行いました。新年度も昨年と同じ料率で運営を行います。

この国保会計は、農家や自営業の皆さんにとっては、万一の時の医療費支出を助けてくれる大切な制度です。

老人保健会計

村の七十歳以上のお年寄りは今年一月末現在で五百五十九人であり、高齢化社会を迎えている私たちの村では毎年確実に増え続けています。

老人保健特別会計は、こ



充実した医療サービスを提供

の七十歳以上のお年寄りとは六十五歳以上の寝たきりの老人の医療費を支給する制度です。

平成四年度は、この対象者となる人の受診件数がのべ六千六百十五件でした。新年度は、受診件数七千三百四十件を見込み二億七千四百万円をこの特別会計に計上し、お年寄りのすやかな生活を守っていきます。

病院事業会計

山村に住む私たちにとって、東白川病院は村の健康を守る唯一の医療機関としてますます大切な役割を果たしています。

しかし病院経営環境をとりまく状況は常に厳しく、支出に対して収入が不足する分を一般会計から繰入れしている状態です。この繰入金は、新年度予算で

有線放送電話会計

は三千万円を予定し、これを含めたこの会計の総額は、前年対比三・二割増の四億円となりました。

医師、看護婦をはじめ病院スタッフは、厳しい状況の中充実した医療サービスを目指しています。村民の皆さんがもし病院へ行く必要のある時は、できるだけ東白川病院を利用していただくことが、病院の経営を助けることにつながっていくのです。

毎日のお知らせ等で長い間皆さんに親しまれている「有線」こと有線放送電話は、この特別会計で運営されています。

施設の老朽化、宅内電話の故障なども増えているうえに現在では、本部交換機、宅内電話機ともに、生産を中止している状態。新しい施設への衣替えについてはここ数年検討されていますが、いよいよ本年、各種新機能を備えた近代的な新しい有線へと生まれ変わります。

詳しくは、この広報八ページに触れていますが、この更新工事にかかる費用も含めこの会計は、一億七百万円となりました。

簡易水道会計

衛生的で安定した給水を目的とした簡易水道事業。二年目を迎え、いよいよ本格的に取り組んでいきます。

事業を円滑に推進していくためにこの特別会計には六億四千万円の子算を計上しました。

この財源は、国、県からの補助金、村債（簡易水道債）、一般会計からの繰入金を中心となっていますが、新年度から加入者負担金として、大明神地区六十九戸からの一千七百二十五万円（二戸二十五万円）も含まれています。

工事の進展については、本文中で紹介したとおりですが、予定では平成六年度中には大明神方面から給水が始まります。



水源地（取水場）工事



充実した機能満載

— 有線放送電話更新 —

放送と電話を兼ねた施設—有線放送電話が村に誕生したのが昭和三十七年。現在のようなダイヤル式の全自動交換となったのが、昭和四十七年。

開始から三十年、本格的な全自動有線放送電話となって二十年を経過した本年、本部交換機と宅内黒電話の取り替えを実施することとなりました。

番号はそのままですが、

黒電話は交換を

る現庁舎解体後の七月ごろを予定しています。

今まで私たちの声をつないでくれた本部交換機は、クロスバ一式という機種のものでしたが、これはNTTのデジタル化に伴い、既に製造が中止されており、部品についても平成三年九月で終了しているため、故障の際の修理ができなくなりました。

新しくなる本部交換機は、デジタル電子式のもので、この交換機は、幅九十四センチ、奥行六十四・五センチ、高さ百九十七センチで重さも約四百キロという巨大なもの。

この交換機二台を有線本部へと運び込みますので、更新時期は、新庁舎建設に伴い行われ

本部交換機の更新により、現在皆さんの家庭で使用いただいている電話機の一部は取り替えなければならなくなりました。対象となるのは、ダイヤル式の黒電話と初期のプッシュ式電話（GX-V2型）です。この二つのタイプは、現在製造が中止されており、新しい本部交換機では使用ができません。

取り替えの時期は、四月から六月を予定しています。なお、七月の本部交換機更新の際には、約二週間程度有線放送電話は、取り付けの諸作業のため使えなくなり、ご迷惑をおかけすることになりますが、ご了承下さい。

取り替えの対象となるご家庭では、その代金として二万二千円ご負担いただくこととなります。場合によっては分割払いの

相談にも応じますので各家庭でよく話し合っておいて下さい。

なお、昭和六十一年以降に新設、増設、取り替えを行ったプッシュ式の電話機については、

新しい交換機にも対応が可能ですので取り替えの必要はありませんが、一部使えない機能がありますから、希望があれば、現在のもの下取りもします。



交換が必要な機種

かつてきた場合、自分の訪問先の番号を登録すれば自動的に訪問先に転送されます。

◎受話器外れ回線での通話・放送：同一回線で使用中であったり、受話機外れがあっても

電話をかけることや放送を聞くことができます。

◎ページング放送：例えば、

学校や、消防団、組長さんなど各種団体の役職者が、団別、

地区別に自宅の電話機から放送ができます。

◎メールボックス：職別、団体別など必要な情報、お知らせを関係者に伝える「声の私書箱」として利用できます。

◎お知らせサービス：各種の情報サービスに活用ができ、イベント情報や特売情報などをメッセージボックスに登録すれば、いつでも最新情報を提供することができま

す。

そのほか、別売のアダプターを設置すれば、ファクシミリやコードレス電話など多目的に利用もできるなど一歩進んだ機能を満載しています。

便利な機能を加え

有線新時代へ

新しくなる有線放送電話は、今までの機能に加え、情報化時代に対応するため数々の新機能を備えています。特徴ある主な新機能を紹介します。

◎会議通話：最大四人までが同時に通話が可能となります。

◎通話予約：相手が話している場合、受話器を持って待てば、相手の通話が終わると自動的に相手呼び出し、他回線なら受話器を置いて待つと相手と自分の呼び出し音が鳴ります。

◎着信自動転送：留守中にか

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

引っ越し先は…

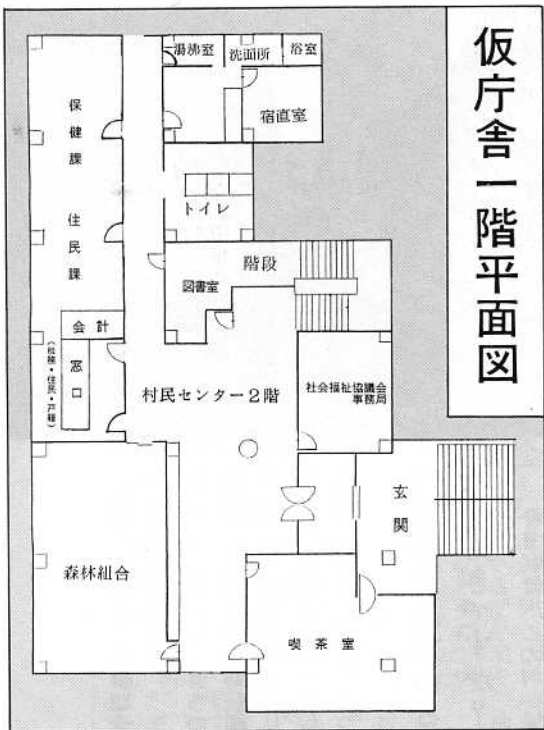
新庁舎建設に伴い、現庁舎を解体するため、住民の皆さんにはご迷惑をおかけしますが、この四月から完成までの約一年間、役場は村民センターを仮庁舎として事務を行います。

仮庁舎一階（センター二階）

は、森林組合、社会福祉協議会が現在の位置。森林組合横の会議室にカウンターを設け、皆さんの生活に関連の深い、戸籍、住民登録、税務などの窓口を置き、商工会事務局のあったスペースに保健課・住民課が入ります。夜間や休日など役場にご用のある方は、宿直室が奥まった

位置です。玄関口のインターホンを利用されると便利です。また、今後センターは土足使用となり、げた箱の空いたスペースに図書室を設けます。

二階は、経営相談室を村長室に、助役・収入役・総務課が栄養改善室、農務課が農業研修室、林務商工課が林業研修室、建設課が農村青年室にそれぞれ入り、三階は、議員控室を企画財政課が、図書室を教育委員会が使用します。また、大集会議室は現在のみまで使用は可能です。



仮庁舎一階平面図

村の行政機関は4月から全ての土曜日が休みになります。

この四月から村の行政機関は一部を除き、毎週土曜日が休みとなります。働く人々の福祉の向上を図り豊かで健康的な生活を実現することなどを目的に労働時間の短縮に向けて、昭和六十三年四月から労働基準法において週四十時間労働制が目標として掲げられています。こうした背景を踏まえて行政機関は、国においては平成四年五月から、岐阜県においては平成四年八月から全ての土曜日を休みとする週休二日制が実施されています。また、県内九十九市町村のうち九十八市町村が今

年中の実施を検討しております。東白川村でもこうした状況を考慮し、週休二日制に踏み切ることになりました。

関係する条例の改正案は、昨年十二月十七日開かれた第四回村議会定例会で審議、可決され、今年四月から役場など村の行政機関は、土曜日を閉庁とするこ

としました。

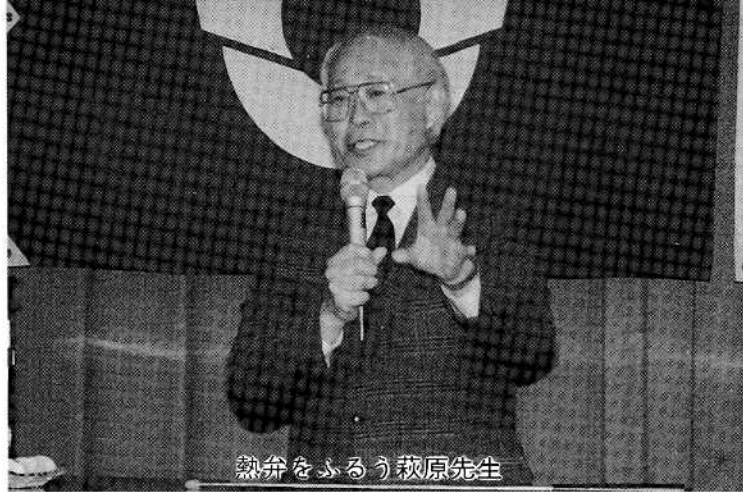
役場では、行政サービスの低下につながるのではないよう、実施に向けて最後の調整を進めています。村民の皆様のご理解とご協力をお願いします。なお、閉庁日（土・日曜日及び祝祭日等の休日）に取り扱う事務の対応は次のとおりです。

閉庁日に取り扱う事務

内	容
①	婚姻、出生、死亡等の届書の受付…従来通り行います。
②	埋火葬許可証の発行…従来通り行います。
③	住民票の交付、年金証明はがき…休日前に電話か郵便で請求のあったもののみ
④	郵便での請求… 村内の郵便局に申請書を備え付け、利用される方はこれに記入し、手数料分の小為替を買い、申請書と小為替と返信用切手と同封のうえ役場へ送付して下さい。役場から本人あてに作成した書類を送付します。（住民表、年金証明のみ）
☆	土曜日も閉庁をしない機関… 病院・保育園・母子健康センター・小中学校（但し第2土曜日は閉庁）

トづくりから始まる 村づくり

山村活性化講演会



熱弁をふるう萩原先生

農協、商工会、森林組合の三団体が主催し開かれている「山村活性化講演会」。三回目の今年は、二月十八日村民センターにおいて「まちづくりプランナー」として活躍中の日本ふるさと塾主宰萩原茂裕先生を講師として迎え「人づくりから始まる村づくり」と題しての講演となりました。平日、昼間にもかかわらず先生の肉声を聞くことが集まった聴衆百十人。熱のこもった講演は参加者を魅了しました。

自分の住んでいる 所が好きですか？

「今日私は、この村へ講演に来たのではありません。この村がまだまだ良くなるお手伝いに来たのです。」

これが先生の第一声でした。先生の講演には必ず日本地図を逆さまにして演台横に設置します。学校での講演では、子どもたちに「この地図はどんな風に見えますか」という質問をすると「日本海が大きく見える」と答える子がいるそうです。

「物事は角度を変えて見ることで違って見えてくる。違った角度からまちを見ることによつてまた、新たなすばらしさを発見することができる。」

全国各地で講演を重ねる先生は、新幹線や飛行機での移動が多く、そのつど乗り合わせた人に「どちらのご出身ですか？」と

の質問をします。例えば東白川の出身なら「名古屋の近くです」と答え、さらに尋ねると「岐阜です」「美濃加茂の近く」……といった答えが返るそうです。学校で子どもたちに「この町が好きですか？」と問えば、ほとんどが「嫌い」と答えるとか。「自分の住んでいる所に自信があれば、人口が少なくても、高い建物がなくても、交通が不便であっても堂々とその名前が叫ばれるはずですよ。このまちは、日本にたった一つ、人も、歴史も風土も何もかもが違う。心の角度を変えてまちを眺めれば必ず誇れるものがある。心の角度を変えてまちを眺められる人をつくった所は、どんなに小さな所でも発展しています。」と先生は熱っぽく語られ、実際に不便な立地条件にありながら、立派に伸びたまちを紹介し、今後の進むべき方向を語られました。

労働保険の年度 更新について

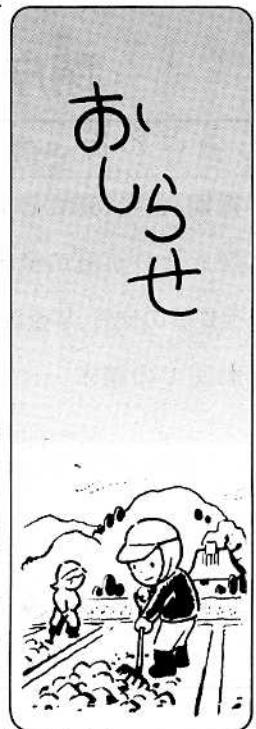
労働保険の平成四年度確定保険料と平成五年度概算保険料の申告・申付手続き（年度更新）は、お済みですか。

平成五年度における申告納付期限は、五月十七日（法定期限の五月十五日が土曜日にあたり、窓口・金融機関ともに休みのため）となりますので、まだ手続きのお済みになっていない事業主の方は、お早めにお問い合わせください。

なお、手続きなどでご不明な点がありましたら、岐阜労働基準局（☎〇五八二（四五）八一〇）または最寄りの労働基準監督署へお尋ね下さい。

国民年金保険料が 月額一万五百円に

農業や自営業に従事されている国民年金の第一号被保険者の方から毎月納めていただいていた



る国民年金の保険料は、四月から平成六年三月までの間月額一万五百円になります。

また、六十歳以上六十五歳未満の方などで、任意加入されている方の保険料も同様に月額一万五百円になります。

なお、付加保険料は、今までどおりの月額四百円です。公的年金は、国民全体で支える「世代と世代の助け合い」の制度です。毎月忘れないよう納めましょう。

土曜日の消防事務 一部休業のお知らせ

可茂消防事務組合では、平成五年四月一日から職員の出休二日制を実施することになりました。このため次の事務については土曜日、日曜日の取り扱いができませんのでお知らせします。

◎消防本部で行っている事務（危険物施設許認可等の事務を含みます）

「まちづくり」の教訓

先生が「まちづくりの先生」と呼んで、実例として挙げられたのは、「スキーのメッカ長野県野沢温泉村」「ワインのまち北海道池田町」「太陽と緑の国・宮崎県」などを中心に、人口が少なくても不慣れな立地条件にあっても「立派に伸びる」ことを立証したまちでした。

こうしたまちづくりに成功してきた地域に共通した点を考え、「まちづくり」の十の教訓として語られた内容を簡単に紹介しましょう。

- ①まちづくりは人づくり：何事をするにも総て人づくりの材料だと考えられる人がたくさんいるまち。
- ②他人のために汗を流す人がたくさんいるまち：そのまちに愛着が湧く。住民が他人のために汗を流す材料にならないかを考えていけるまちづくり。
- ③足元を見つめることのできるまち：他に頼って遠くを眺めるのではなく、足元の材料を活かすことができるまちづくり。
- ④十年以上継続できるまち：今が全てでなく、子どもや孫のためだと考えるまちづくり。

置きみやげは「伝蔵桜」

講師萩原先生は、講演のさきさきで必ずその地域を見るそうですが、この日も午前中に到着し、午後からの講演の前に村内各地を視察。その中で特に興味を持たれたのは「四ツ割碑」でした。

「お寺のない村は全国でも珍しい。この村の大きな自慢になります。この碑を割られた石工伝



視察センターとふるさ

- ⑤若者が立ち上がり、立ちあがらせるまち：「立ち上がり」「立ち上がらせる」この二つの条件をそろえられるまちづくり。
- ⑥「目的」と「手段」をわきまえているまち：例えば村おこしで何かの事業を行うときそれは「手段」であって「目的」は村の発展であると考えられることができるまちづくり。
- ⑦選挙を「手段」とわきまえているまち：選挙は、「手段」であって「目的」はまちを良くすることであることを理解しているまちづくり。
- ⑧情報選択能力のあるまち：同じものを見ても聞いても自分にとどのように置き換えられるか

が考えられるまちづくり。

⑨自慢できるものを「観光資源」ととらえられるまち：どんなものでも今あるものを「自分たちの自慢のできるもの」としてとらえ、それを観光資源として考えられるまちづくり。

⑩テーマのあるまち：足元のもので、子どもからお年寄りまで誰もが理解できる行動目標を持ったまちづくり。

以上が、先生が語られた「まちづくり」の教訓です。

「種まく人」を自称する萩原先生は、私たちの村にもすばらしい種をまいてくださいました。この種を上手に育て、立派な実にかかっているのです。

図書コーナー

となりのトトロ



宮崎 駿 著

お母さんは病院に入院しているし、お父さんは大学の教授なのであまり会っていてもかわいそうです。私も欲しくありません。

推薦人 (11歳 女)

台所のおと

幸田 文 著

台所で作業する音で、その人の性格・精神状態がわかかってしまうなんて、今まで思っても見ませんでした。いろいろな小さな物音にも耳を傾けてみたくなりました。

推薦者 (31歳 女)



年金現況届窓口手数料が無料になります

年金受給中の方が年に一回提出する年金受給権者現況届の証明手数料が、あらゆる年金について、平成五年四月一日より無料となります。

防霜ファンを お使いの皆さんへ

お茶のシーズンが近づき防霜ファンが活躍する時期となりましたが、ご使用の際には次のことを必ずご確認ください。

- ①使用直前に施設点検、試運転を行い、ファンの回転を確認

- ②万一不良箇所発見の場合、直ちに修理すること。
- ③故障などの緊急時に備え、メーカー代理店、電気工事店など関係各所の連絡先の確認。
- ④停電時に自動的にスイッチが「切」になる機種があるので回復後、スイッチの確認。

※もし、異常を発見した際には、すぐにメーカーか電気工事店または中部電力までご連絡下さい。

▼中部電力(株)金山サービスセンター
 〒二〇五四 同白川サービスステーション ☎(二二)一〇七四まで
 お願いします。

宝

新たに五点を指定 ふるさとの文化財



播隆の名号塔

東白川村文化財審議会が指定を行っている村指定文化財。これまで、国指定のもの一件（越原ハナノキ自生地）と村指定

のものを十四件を登録しています。が、村内に眠る文化財の調査を進めていた同会では、このほど次の五件を新たに指定しました。

- (一) 内は、指定種別
- ① 歳多日記（有形文化財・古文書）
 - ② 一石十三仏塔（史跡）
 - ③ 播隆の名号塔（史跡）
 - ④ 神田神社のコウヤマキ（天然記念物）
 - ⑤ 越原神社の神楽獅子（無形民俗文化財）

心

「川はみんなのもの」 環境美化に一つの試み



「夏までには完成させたい」と田口さん

「ほうっておいたら川がどんどん汚されてしまうから」と

単独で公衆便所を建てられているのは、田口安幸さん（日向）。以前から釣りや川遊びにくる人のマナーの悪さに業をにやしていましたが、「いたるところで用をたさされては困る」と自宅で製作用に取りかかったもの。夏が来るまでに完成させたいと張り切る田口さん、白川の美しさをいつまでも守ることが一番の願いなのです。

夢

まごころをありがとう 見事にそろったひな飾り



新しいひなかざりの前で笑顔満開

五加保育園に立派なひな飾りがそろいました。

実は五加保育園のひな飾り、以前のは昭和四十二年に購入したもの。老朽化がひどくここ数年飾られていませんでした。見かねた昨年度の保護者会退会者の皆さんが園にひな壇をプレゼント。人形は、不用品バザーなどの収益で少しずつ購入を予定していたところ、おゆうぎ会

卵

この体験を生かして 大きく羽ばたきたい



先輩の経験談を熱心に聞く

「こちらの見学で生命の神秘の不思議さも教えて頂いたよう

に思います」「私も妊産婦さんの達の本心に考える助産婦になりたいです」。二月九日大阪赤十字助産婦学校の学生さんたち十五名が母子健康センターを視察見学しました。いわゆる助産婦さんの「卵」である彼女たちは、卒業後は病院勤務となる人がほとんど。地域母子保健の実情は、彼女たちに「何か」を与えたようでした。

■戸籍の窓―敬称略（二月）



誕生おめでとう
ございます

に招待した独居老人の皆さんや祖父母の方が事情を知り、ご厚意下さったため、二年越しで飾りがっぱにそろいました。

(神付) 安江 宏

眞理 (三男)
紘悟 (三男)

(下親田) 安江 正明

節子 (有可)
有可 (長女)

(柏本) 安江 弘企

由美子 (晴菜)
晴菜 (二女)

(下野) 今井 克幸

さつき (麻那)
麻那 (長女)

(大明神) 三戸 行美

美穂 (真希)
真希 (二女)

(平) 田口 安範

千穂美 (絵梨)
絵梨 (長女)

(平) 小池謙多郎

康子 (宏昌)
宏昌 (長男)



いつまでも
おしあわせに

(安江) 修治 (平)

(安江) はずみ (下野)

(長尾) 修 (加子母村)

(高木) 由香 (黒洲)



おくやみ
申しあげます

顔

構想から三年余 商工会館始動

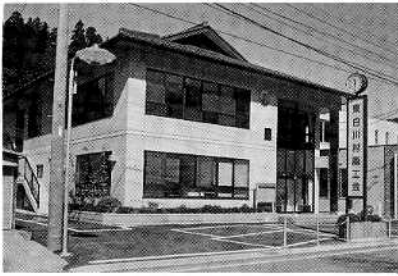
「商工会という何か役場の一部であるかのように思われがちでしたが、念願だった独立事務所を構えたことで本当の意味での商工会活動を村民の皆さんに理解してもらえるようになるのでは…」と話してくれたのは、商工会事務局長今井俊郎さん。



整然としたオフィス

三転。昭和五十年から村民センターへ移り事務を行ってきたが、会員数も増え、会合等にも不便になってきたため今回の建設に踏み切りました。
会館一階は、おもに事務局が使用しますが会議等の目的で作られた二階の研修室や、和室は、四月から登録制で会員以外の方でも使用が可能になるようです。
三月五日には盛大な竣工式も行われた商工会館。また一つ村に新しい「顔」が誕生しました。

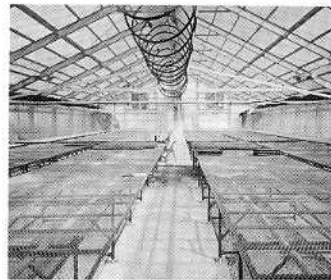
昨年七月から平地内のバイパス沿い、新郵便局舎隣で工事が進められていた商工会館がこの二月完成し、二月二十二日から事務が開始されました。
商工会というと商店の方の組織というイメージが強いようですが、会員は、建築、木工などから土木、工業関係の人に至るまで現在二百十名を数えます。その歴史も古く、現在のような法人として設立されたのは、昭和三十五年ですが、任意の団体としては、昭和二年に発足されています。この間事務所は二転、



神土バイパス沿いの新しい「顔」に

苗

トマト農家に大きな味方 育苗施設完成



3月末からは仮植が始まります

「園芸農家に吉報」の待望の野菜育苗施設がこの一月末完成

し現在試験を終え、本番を待つばかりの状態になっています。今まで夏秋トマトは、村に施設や技術がなかったため、ほとんどの農家で接ぎ木した苗を四国からの導入に頼っていましたが、この施設では、コンピュータ導入により、接ぎ木作業や集中管理も可能となり、これまでに問題となったバラツキ、病害等の解消に期待が集まっています。

和

村づくりの土台支える 観光協会旗上げ



設立総会のもよう

「観光産業を盛り上げて村づくりの目玉に育てたい」。三月

一日、村民センターにおいて東白川村観光協会設立総会が三十名の会員を集め開かれました。村の観光協会という昭和四十年代には活動をしていましたが、現在では有名無実の状態。同会では発足にあたり昨年夏から準備を進め、会員募集を行いました。六十五名の賛同者を集めました。村づくりを進めるうえで頼もしい会の設立となったのです。

- 後藤 好三 53歳(陰地)
- 安江志づ子 63歳(日向)
- 田口 文男 72歳(上親田)
- 大坪 久夫 88歳(平)
- 村雲いちの 92歳(日向)

■善意の寄付■敬称略

【社会福祉施設整備基金指定
定寄付金】

現金五万円||後藤とよみ(陰地)

現金四万三千八百五十一円||田口廣美(上親田)

【社会福祉協議会へ】

現金五十万円||匿名

現金二千八百円||匿名

現金二万四千元||匿名

現金二十万円||安江正和(曲坂)

現金五万円||匿名

【東白川小学校へ】

卒業証書筒五十本||J A 東白川

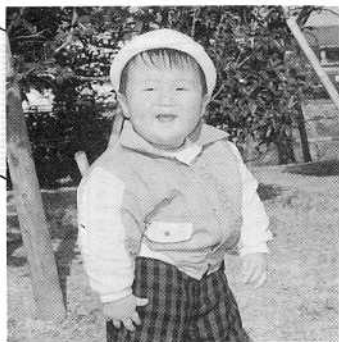
【神土保育園へ】

絵本七十八冊||田尻あかり(神付)

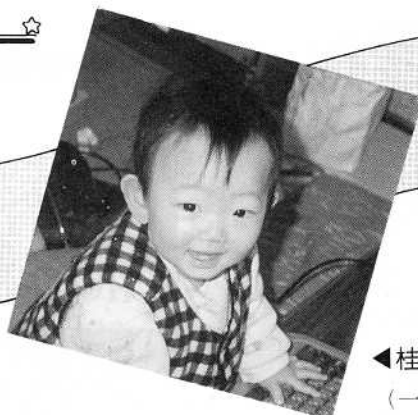
三輪車四台||平成四年度卒園児保護者一同

なお、役員は次のとおり。
(敬称略)

会長―今井啓市 副会長―安江建夫・吉村隆男



▲桂川 晋くん (誠さん・恵美さん二男=大明神)



◀桂川ももこちゃん

(一喜さん・のぞみさん長女=陰地)

満1歳

ふれあい広場

新婚さん♡

■ワン・ショット■

実は、このお二人は超スピード結婚です。二人の最初の出会いは、社会福祉協議会の主催している青年フォーラムのクリスマスパーティー。その時には、お互い良い印象を持ったものの、結婚はもとよりお付き合いさえ考えなかったそうですが、約半年後の昨年春、お互いの友達とおしでお酒を飲みに行つてから急接近したとのこと。「口は悪いし、いつも私を見ていてくれるんですよ」とは奥さんほずみさんのしつかりしたおノロケ。「お婿さん」として迎えられる形の修治さんの旧姓も安江、安江家とおしの結婚は、村で最も可能性の高い結び付き。



安江修治さん・ほずみさん

この写真は引きのばしてお二人に進呈します。

「子どもは最底三人は…」と話してくれた素敵なお婿さんです。

ふるさと道目の生活史

11

▽自在鉤

先月号にならって、生活様式の変化によって消え行く道具と型を変えて生き残る道具に分類すれば、今月は前者の代表とも言える「自在鉤」に想いを馳せることにしましょう。

自在鉤とは囲炉裏の焚き火の上に鉄瓶や鍋を掛けて煮炊きする道具で、その高さを自由自在に変えられるところが名前の由来です。

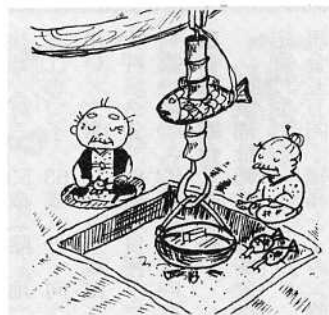
何しろ囲炉裏が無くなってしまったからには、その上にぶらさがっているのが役目の自在鉤はただ消え行くのみ……。

しかしこの道具は、消え去るにまかせるのは惜しいほどの優れたもの。構造は簡単でも梃の原理を応用して上げ下げをコントロールするわけだが、火にかけた直後は最も火力の強い所へ、煮え立つて来たら噴きこぼれを防ぐために少し上へ、すつかり煮えたらすつと上へ離す……と

自由自在。始めチヨロチヨロ中パツパツなど造作もないこと。こと煮物に限れば、微妙な火加減の演出は今だにこの自在鉤に優るものは無いように思われます。

この機能性に加えて、今風に言えばインテリアとしての価値も捨てがたいものがありました。それは上げ下げをコントローする梃の部分に彫刻がほどこされたものが多かったことです。一番ポピュラーなのは梃全体を一匹の鯉に見立てたもの。精密に刻まれた鱗の一枚一枚が、数十年も煙にいぶされて黒光りするさまは、何とも言えない雰囲気醸したものでした。

今春オーブンするこもればの館には囲炉裏の間があります。どこかに自在鉤が眠っていたらぜひ提供して下さいませんか。広報係までご一報下さい。





▲ 村雲由菜ちゃん
(成男さん・由紀子さん二女=陰地)



慰霊塔横の梅の花が満開となり、思わずシャッターをパチリ。

四月の後半になれば、この梅の木も慰霊塔とともに移動することになります。来春には、きっとこもれびの里をきれいな花で飾ることでしょう。



平成四年榎の子

探索記

大坪 信也(上親田)

春が近づき、榎の子たちも冬眠から目を覚ますころとなりましたので、昨年探そう会に届いた話をしたいと思います。

最初は、伊勢市矢持町に住む出口さんの話。昨年七月に犬を散歩に連れ出したところ、途中で犬がキャンキャンとほえ、何か黒いえた

最初は、伊勢市矢持町に住む出口さんの話。昨年七月に犬を散歩に連れ出したところ、途中で犬がキャンキャンとほえ、何か黒いえた

いの知れないものを押さえていた。太さ一升ビンくらい、長さ40センチくらいのずんどう、真っ赤な口を開け、犬を威嚇。どうもこの得体の知れない生物にかまれた様子。出口さんはびつくり仰天「化け物を見た」と家かけ込んだ。それから二、三日後出口夫妻、集落の人達、横浜の未確認生物研究会の手嶋氏ら

行三日三晩の探索も空振り。七月、付知町では畜産家の方から榎の子の死体を発見との通報を受け、本物であつて欲しいと願いながら急行。県博物館の鑑定結果は、オーストラリア産のカゲと判明した。今年もまた、榎の子に関する情報がありましたら探そう会へお寄せ下さい。



探索中の手嶋氏一行

元気です!
働くお年より
商売

「店を始めたころは、朝の二時ぐらいから遠くは名古屋まで仕入れに行つたもんですよ」と元気に話してくれたのは、大正四年生まれ今年七十八歳になる村雲佐七さん(陰地)。

佐七さんは、終戦後名古屋方面にしばらく住んでいましたが、村に戻つてから木工所を開設。その後、昭和二十六年ころから商店を始めました。現在も現役のドライバーである佐七さん。車との出会いもちよいとこのころだとか。「当時は、仕入れや配達には車は欠かせられませんでした。かれこれ五十年になりましたが、今まで事故らしい事故はほとんどありません。今でも一日一回ぐらいは、配達にでています。今はどこへ行つても本当に道が良くなった」と話す佐七さんの安全運転の心得は、カーブに細心の注意を払うこと。また、佐七さんは、配達へ行

くにも、どこかへ出かけるにも必ず二つ年下の奥さんすみさんを同伴するという近所でも評判の「おしどり夫婦」。そんな佐七さん、最近は何となく行かなくなつたそうですが、パチンコが趣味。もちろん出かけるときには、奥さんすみさんを連れてだつてとのこと。

商売のほうは、今では第一線を退いて、奥さんと一緒に過ごすことが毎日の仕事、と話す佐七さんに健康の秘訣を伺つたところ「特別に何かしているわけではないけども、朝晩軽い運動することは欠かせませんし、それよりも何よりも子どもや孫たちが近くにおつて安心しておれることが一番ですよ」と話してくれました。



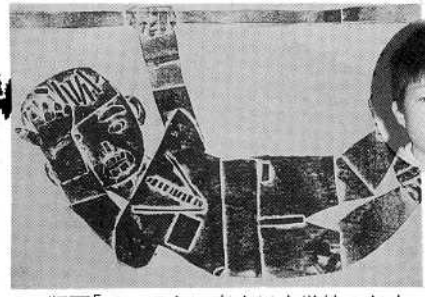
いつも二人一緒の佐七さんご夫婦

わたしの作品



◀「語りかける手」
東白川中学校2年生
今井昭寿さん
(陰地)

◀「まとまった手」
東白川中学校2年生
今井雄平さん
(大沢)



▲版画「てつぼう」東白川小学校2年生
安江賢介さん(神付)



▲版画「バスケットボール」
東白川小学校6年生
安江直也さん(平)



▲おひなさま
神土保育園
むらくもこうすけくん
(中谷)



▲おひなさま
神土保育園 ひぐちかつらちゃん(加舎尾)

広報文芸

●俳句

○式内の森鬱蒼と神の留守
薪割る老の背中を雪が舞ふ
お茶を飲み白髪同志の春炬燵
大小と抜きし大根の穴残る
豆腐切るあれし掌雪の声
大年の風呂ゆきゆきと深く入る
吊橋を渡りくる風寒の入り
師走雨わが似顔絵抱き戻る
罅割れて水に鎮座の鏡餅
ぼりぼりと漬物桶の水割る
妹富枝遺く
福寿草つめたき雨にしばみけり
過去は皆水に流して大晦日
寄せ植えに早咲き一輪福寿草
元日や天に届けと西うたふ
テレビ早や南国よりの花便り
雪掻くや土の匂いの新らしき

●狂俳

見たり聞いたり 釣天狗秘境をのぼる
妻 主婦の座守る尻でかい
見たり聞いたり ガイドの美声旅情濃い
生 甲斐 神に仕へて八十路越す
生 甲斐 すすく伸びる孫が居る
◎見たり聞いたり 親を手本に子は育つ
妻 連れ添う程に味が出る
妻 ぶすでも気前に惚れました
妻 月給袋を送り出す
おしいなも 文化財ゲーム湖に沈む
数へ日 臨月の妻指を折る

あなたも俳句・狂俳に挑戦してみませんか。あなたの作品をお待ちしています。投稿は奇数月の二十日までに、俳句は西河洞重喜宛、狂俳は陰地安江水吉宛までお寄せ下さい。なお、今回の狂俳の題は「なんたらこつちや」「小さい声」「花吹雪」です。

- | | |
|------------|------------|
| 安江一 滴水(日向) | 河田 重喜(西河) |
| 安江 市助(栃山) | 新田 義男(加舎尾) |
| 熊崎とみの(下野) | 田口 秋映(日向) |
| 故安江 富枝(曲坂) | 安江 武子(平) |
| 安江とくよ(平) | 安江須美代(平) |
| 新田 義男(加舎尾) | 河田あや子(西河) |
| 安江 武子(平) | 安江 圭一(宮代) |
| 今井 統子(平) | 今井 統子(平) |
| 田口 耕作(中谷) | 故安江 富枝(曲坂) |
| 河田あや子(西河) | 田口 秋映(日向) |
| 河田 清美(曲坂) | 加藤 公一(栃山) |
| 村雲みか子(中通) | |
| 田口 秋映(日向) | |
| 安江 圭一(宮代) | |
| 安江すみよ(平) | |
| 河田 重喜(西河) | |
| 清流軒久永 | |



東白川の勤務について四度目の春を迎えようとしている

春に始まり春に終わる人事異動の世界にいる者は、勤務の年数より一度多い、緊張と回顧の春を過ごしている。▼三年前心地良い緊張感をおぼえて通勤するとういう原稿を広報に記載してもらったことがある。その時の内容をもう一度読み返しながら今感慨にふける。学校現場にいたころの自分はどうも視野の狭い人間だったなど。▼幼い子供から高齢者の方にはいたるまで実に多くの人とふれあえた。生まれて初めて歌舞伎なるものに挑戦できた。すべてが自分にとっては全く新しいことばかりであった。視野は新しい経験の中で広がった。▼光陰矢のごとし。幕を閉じようとしているこの生活は本当にすばやく通り過ぎてしまったが、広げられた視野が生かされるのはこれからの自分のあり方ひとつ。今、思い出が一枚の絵になる時。またお会いしたい素敵なたちに乾杯。